

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2025年 第13週（3月24日～3月30日）

今週のコメント

～感染性胃腸炎～ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 減少続くも、過去10年間の同時期で高い」

第13週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,183例であり、前週比12.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、水痘・咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ7.98、1.18、1.02、0.38、0.22である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比14%減の1,533例で、南河内13.38、大阪市南部9.24、三島8.71、中河内8.32、北河内8.08であった。

RSウイルス感染症は19%減の226例で、南河内3.25、大阪市北部2.23、北河内1.24である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の195例で、大阪市南部1.76、堺市1.63、北河内1.36であった。

伝染性紅斑は55%増の73例で、豊能0.82、大阪市東部0.64、南河内0.50である。

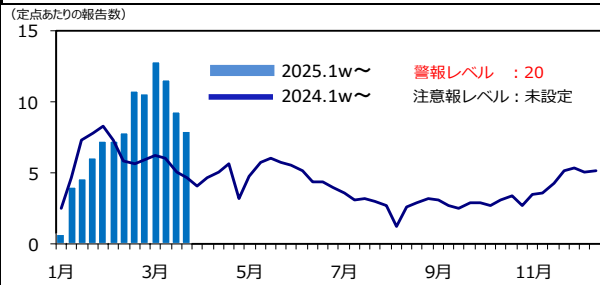
水痘は23%減の43例で、泉州0.45、三島・大阪市南部0.29であった。

咽頭結膜熱は30%減の42例で、南河内0.44、大阪市北部0.38、三島0.35である。

インフルエンザは5%減の573例で、定点あたり報告数は1.91であった。北河内4.02、南河内2.83、豊能2.71、大阪市東部1.81、中河内1.57である。

新型コロナウイルス感染症は7%減の623例で定点あたり報告数は2.08であった。大阪市東部2.76、北河内2.56、豊能2.34、中河内2.23、堺市2.10である。

感染性胃腸炎



伝染性紅斑

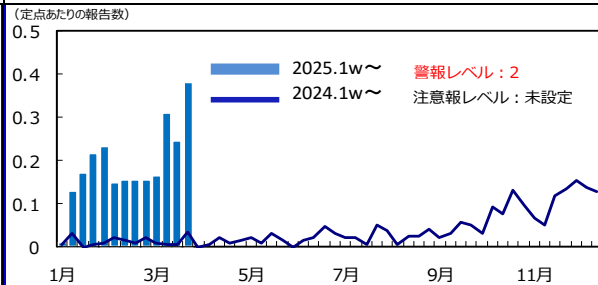


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第13週3月24日～3月30日）

第13週の順位	第12週の順位	感染症	2025年 第13週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2024年 第13週の 定点あたり 報告数	2025年第13週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.98	14%減	4.69	10-14歳_13%
2	2	RSウイルス感染症	1.18	19%減	2.63	1歳未満_42%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	4%減	2.53	6歳_15%
4	6	伝染性紅斑	0.38	55%増	0.04	5歳_22%
5	5	水痘	0.22	23%減	0.14	10-14歳_30%
5	4	咽頭結膜熱	0.22	30%減	0.27	1歳_33%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.91	5%減	4.08	10-14歳_24%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.08	7%減	3.60	70-79歳_15%

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

第13週のコメント

～百日咳～ 生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症	
百日咳	
<p>百日咳は、百日咳菌 (<i>Bordetella pertussis</i>) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。</p> <p>百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。</p> <p>百日咳 [国立健康危機管理研究機構 (旧 国立感染症研究所)] 百日咳 (大阪府感染症情報センター)</p>	<div style="text-align: center;"> <h3>年別累積報告数 (大阪府)</h3> </div>

表 2. 大阪府全数報告数 (2025年 第13週3月24日～3月30日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1								35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1								11
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		1	2	1					110
	水痘 (入院例)	1								1	14
	梅毒	10				1			2	7	394
	百日咳	33	2	2	7	2	6		11	3	375
	麻しん	1						1			8
結核 (2025年2月分)	結核 新登録患者数：46名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 21名) (府内累積報告数 136名、内 肺・喀痰塗抹陽性 55名)										

(2025年4月1日 集計分)